



アマミホシゾラフグ

え ぐち え り おおかたようじ ともなが しゅつぱん
江口絵理作 大方洋二写真 友永たろ絵 ほるぷ出版

ここは、奄美大島へつづく海の底。にぎわうサンゴ礁をぬけて深いほうへむかうと、砂漠のような白い砂地に直径2メートルほどのなぞめいたもよう。「ミステリーサークル」みたい。いったい、だれがつくったの？

サークルの主は、アマミホシゾラフグ。体長わずか10センチの小さな魚です。メスの気をひくために、オスだけがサークルをつくります。このサークルが見つかってから、つくり手がわかるまで16年もかかりました。なぞの多い新種の魚を紹介する写真絵本です。

